

青森県のオープンデータへの取組



自己紹介

青森県商工労働部新産業創造課
情報産業振興グループ 主査 池田 安克

＜略歴＞

- 1997年3月 日本一学生数の多い大学を卒業
- 1997年4月 青森県庁に入庁
福祉事務所に配属。生活保護のケースワーカーとして勤務
- 2000年4月 別の福祉事務所に異動。やはり生活保護のケースワーカーとして勤務
- 2002年4月 児童相談所に異動。児童福祉司として勤務
- 2005年4月 防災消防課に異動。いろいろな業務に従事したが、防災無線・システム関係に一番長く携わる
- 2010年4月 広報広聴課に異動。広報番組の企画、県庁HPの管理業務などのほか、オープンデータとは知らずに「あおもり映像コンテンツ・プロモーション」業務に従事
- 2013年4月 新産業創造課に異動。県内情報産業振興に携わり、オープンデータに出会う。ここで、前の職場でオープンデータを扱っていたことを知る。

これまでの取組

あおもり映像コンテンツプロモーション

<内容>

青森県職員が自ら映像（動画）を撮影し、県が著作権を保有する映像として管理・蓄積するとともに、映像素材として公開し、みなさんに利用していただくことで青森県の効果的なPRに繋げる事業

<コンテンツ>

「あおもり映像素材ライブラリー」にて

自然…八甲田山、白神山地、十和田湖、竜飛崎

食 …りんご、せんべい汁、十和田バラ焼き、黒石つゆ焼きそば

文化…青森ねぶたまつり、弘前さくらまつり、津軽塗、酸ヶ湯温泉

交通…東北新幹線（はやぶさ）、南部縦貫鉄道

など、約150種類、4,000コンテンツを公開中

あおもり映像コンテンツプロモーション

＜受賞履歴＞

2010年

第16回AMDアワード「リージョナル賞」

（主催：社団法人デジタルメディア協会）

－平成23年－全国広報コンクール「広報企画部門」入選

（主催：社団法人日本広報協会）－

2011年

2011年度グッドデザイン賞

（主催：公益財団法人日本デザイン振興会）

2012年

オープンデータ流通推進コンソーシアム優秀賞

（主催：オープンデータ流通推進コンソーシアム）

あおもり映像コンテンツプロモーション

<背景>

企業誘致や県事業の紹介などのPR・プレゼンテーションを効果的に行うためには、今や映像は必要不可欠なアイテム



自由に利用できる映像素材が必要だが、

- ・ 県の広報番組や県が民間企業などに委託し制作したPRビデオなどは県に著作権がない
- ・ 保管されている各種映像などについて、著作権の所在が把握できない

等の理由から外部への映像提供などといった二次利用が極めて困難



映像を職員が自ら撮影し、県が著作権を持つ映像資産を蓄積するとともに、その利活用の促進を広く図る

あおもり映像コンテンツプロモーション

<課題>

- ・ **コンテンツのクオリティの維持**

職員が撮影・編集することから、技術まで引継ぐことが難しく、コンテンツのクオリティを維持していくことができない

- ・ **コンテンツの増、更新**

庁内ベンチャー制度を利用して実施した事業であり、庁内ベンチャー終了後は通常業務の一部に組み込まれるため、人員的にも予算的にも、コンテンツの数を増やすことや、新たな映像への差し替えが難しい

- ・ **コンテンツの利用促進**

上記と同様、コンテンツの利用促進を図っていくことも難しい

観光クラウド

<経緯>

2010年の東北新幹線全線開業に向け、観光情報サイトのリニューアルが必要となった

⇒市町村や関係団体等の外部サイトからインターネットを通じて自動的に参照できる観光情報DB「観光クラウド」が誕生

<内容>

青森県観光連盟が運営する観光情報サイト「アプティネット」において、参加市町村等が管理画面から観光情報を入力することで、県内の観光情報を一元化し、蓄積した最新情報を、様々な情報サービスで広く活用できるようにAPIを構築し、オープンデータとして民間に開放



**オープンデータを用いた観光クラウドを活用し
官民協働による観光分野での“新しい公共”を創出**

観光クラウド

【市町村等】

管内の観光情報を収集



アプリネット管理画面から、観光情報を入力



【アプリネット】

入力された観光情報をXMLDBに格納



オープンデータとして公開・提供

HP向けページを生成



【民間企業】

オープンデータを活用し、新たなサービスを提供



【県民・観光客】

HP閲覧による情報収集や、サービスの利用による観光の利便性向上



観光クラウド

<利用例>

- ・ **Webルートガイド（株）富士通システムズ・イースト**

観光サイトから行きたいスポットを選択するだけで、車での最適な訪問順序や移動ルート、走行時間・距離を自動計算し、ルート周辺にある寄り道スポットをご案内するサービス

- ・ **観光案内サービス（株）トヨタレンタリース青森**

スマートフォンを利用した観光情報サイト「あおもりの旅ガイド」を構築し、レンタカー利用者に観光ルートのガイド機能やモバイルで使える県内一円の豊富なクーポンを提供

観光クラウド

<課題>

- ・情報の精度、レベル

情報源が主に市町村担当者であることから、担当者の意識により、市町村間の情報レベルに差が生じる

現在、これからの取組

青森県庁内の役割分担

＜企画政策部 情報システム課＞

主に、庁内のデータのオープンデータ化と、職員のオープンデータに関するリテラシーの向上



オープンデータを提供する役割

＜商工労働部 新産業創造課＞

主に、民間におけるオープンデータの利活用を検討することによる情報産業振興、新産業創造



オープンデータの利活用を支援する役割

青森県庁内の役割分担

＜企画政策部 情報システム課＞

- ・ 県民との連携・協働は、県政運営上欠くことのできない視点
⇒青森県行財政改革大綱の協働戦略に「県民との連携・協働」を掲げ、その取組の一つとして「オープンデータ化」を推進
- ・ 公共データを、より使いやすい形で提供することで、行政の透明性や効率性を高め、県民参画・官民協働を促進
- ・ 民間のノウハウ等を活用することで、新事業・新産業の創出や県民生活の利便性が向上



平成26年度を目途に、オープンデータ化に対する基本的な取組方針「青森県オープンデータ戦略（仮称）」をとりまとめる

青森県庁内の役割分担

＜商工労働部 新産業創造課＞

- ・ 青森県内には、既にオープンデータとして活用されている事例がある
- ・ 情報システム課が「オープンデータ戦略（仮称）」の策定を進めている
- ・ 情報産業振興及び新産業創造が責務



オープンデータを、県内IT企業がいち早く利活用することができるよう、新時代ITビジネス研究会に「オープンデータ活用検討部会」を設置

新時代ITビジネス研究会

<設立>

平成25年7月8日

<会員>

青森県内外のIT企業を中心に約150名

<目的>

- ・クラウドコンピューティング等新技術に対する県内IT企業の技術力向上
- ・IT企業間及び他業種・他産業との連携



- ・県内IT企業の企画力・事業提案力の向上
- ・技術の効果的な活用



地域産業の新たな価値を創造し、情報産業の活性化と新事業・新産業の創出を図る

オープンデータ活用検討部会

<活動趣旨>

青森県におけるオープンデータの利活用を推進し、産業振興つなげる

<メンバー>

・ 部会長

特定非営利活動法人地域情報化モデル研究会

代表理事 米田 剛 氏

・ 部会員

県内IT企業

(地独)青森県産業技術センター工業総合研究所

(公社)青森県観光連盟

庁内関係課…企画政策部情報システム課

観光国際戦略局観光交流推進課

商工労働部新産業創造課

オープンデータ活用検討部会

＜活動内容＞

- ・ **事前準備**

庁内のオープンデータ候補やオープンデータ化の問題点等を検討

- ・ **検討会**

県内IT企業によるオープンデータを活用したサービス案の提示

上記サービス案のレビュー

オープンデータ活用にあつての課題抽出

- ・ **産学共同プロジェクト**

民間企業と大学が連携

「税金はどこへ行った？」の青森県版立ち上げ

プロジェクトの活動をフォーラム等で一般県民向けに発表

オープンデータ活用検討部会

＜活動内容＞

- ・ **オープンデータ活用推進フォーラム（1月23日予定）**

オープンデータ有識者による講演

部会活動結果の発表

オープンデータの課題や展望に係るパネルディスカッション
など

- ・ **国際・オープン・データ・デイへの参加
（2月22日予定）**

国際・オープン・データ・デイに青森県として参加。
（内容検討中）



オープンデータの活用先進事例を確立し、利活用を普及啓発

ご清聴ありがとうございました

